



今月の表紙 月あかり花回廊



9月15日(土)~10月1日(月)に、鬼怒川・川治の両温泉街で、さまざまな「あかり」を用いて癒やしを演出するイベント、月あかり花回廊が開催されました。

川治温泉では、会場となった川治ふれあい公園で、ライトアップに合わせて箏や尺八などの生演奏が行われました。

鬼怒川温泉では、23日(日)にオカリナ演奏の第一人者、宗次郎氏の野外コンサートが開催され、訪れた多くの観光客たちはオカリナの持つ柔らかな音色に聴き入っていました。この日はあいにくの空模様でしたが、コンサートが始まると次第に雨が上がり、月の光が会場を包み込み始めました。

神奈川県横浜市から訪れた渡辺佳美さんは、「初めて来ました。幻想的で心が安らぎました」と話してくれました。



9月19日(水)、中央公民館で明るい選挙啓発書道コンクールが行われました。市内の小中学生から応募のあった105点の中から、優秀賞作品17点を選びました。審査員は、市観光大使で日本書道師範の涼風花さんが務め、「たくさん応募があり、素晴らしい作品ばかりで選ぶのに苦労しました」と話しました。優秀賞作品は、選挙啓発グッズに使用する予定です。



10月8日(月・祝)、小杉放菴記念日光美術館で開催された「思い出の布を使って自分の顔の旗をつくろう!」。参加者たちは、思い出の布を切り張りし、自由な発想で顔の旗を作りました。地神かほさん(日光小三年生)は、「いろいろな柄の布で顔を作ることが出来て楽しかったです」と、目を輝かせて話してくれました。



9月30日(日)に、中三依ふるさと広場で、なかみより山のもの何でもござるまつりが開催されました。地元の野菜やそば、木工品などの販売の他、歌やギターなどのステージ、チェーンソーアートの実演が会場を盛り上げました。また前回までのそばの早食いに替わり、今年は丸太切り競争が登場。切る速さではなく、丸太の切れ端を、1kgにどれだけ近づけるかを競いました。



れるかで競いました。優勝は鳴原厚子さん(鹿沼市)で、「丸太切りなんて初めての体験ですが、楽しかったです。還暦祝いの家族旅行で、良い記念になりました」と笑顔で答えてくれました。

山のもの何でもござるまつり

明るい選挙啓発書道コンクール

美術館ワークショップ

いつてみつけ奥日光

日光青年会議所が主催した、日光地域の魅力を満喫するイベント「いつてみつけ奥日光」が、9月23日(日)に開催されました。朝から雨が降る肌寒い日となったものの、スタート地点の日光だいや川公園には100名以上が集まりました。車を使ったウォークラリーといえるこのイベント。参加者はヒントを頼りに次のチェックポイントへ移動し、チェックポイントで



はゲームやクイズ、移動中に撮影した風景などの写真で得点を稼ぎながら、ゴールを目指しました。そしてゴールとなった中禅寺湖畔の県営駐車場では、全員の到着を待って、成績発表と表彰式が行われました。知人の紹介で参加した松本さん(中央町)が見事に優勝。「天候はいまひとつでしたが、日光の自然を満喫できました。後日改めて、今日のコースを回ってみたいですね」と感想を話してくれました。

大使館ウィーク in Nikko

9月22日(土)~30日(日)の9日間、大使館ウィーク in Nikko が開催されました。これは、「日光で世界を楽しむ9日間」というコンセプトのもと、フランス・中国・韓国大使館の協力により、食や舞踏、芸術などの文化が集結したものです。初日は、今市文化会館でオープニング式典が行われました。郭敏氏による中国揚琴演奏、ミン・ヨンチ氏などによる韓国民族音楽サムルノリ、金順子氏を中



心とした韓国舞踏公演、日仏楽友協会による弦楽アンサンブルが披露され、観客を魅了しました。その後、歓迎レセプションが行われ、栃木県産の食材を使った各国の料理が提供され、多くの人が舌鼓を打っていました。また、開催期間中には、フランス絵画展や韓国南部風景写真展、中国少数民族舞踏などのイベントが開催され、たくさんの来場者でにぎわいました。

WA TARASE Art Project



わたらせ渓谷鐵道沿線でさまざまな創作活動を展開している団体、「WAT AR ASE Art Project」の作品展が、9月15日(土)~10月21日(日)まで、足尾地区で開催されました。

この催しは毎年定期的に行われているもので、開催期間中、足尾のまちなかは独創的なアートであふれ返ります。今回は、かつての銅山労働組合本部や使われなくなった社宅、空き店舗などを会場に、約50名の気鋭の作家たちが思い思いの芸術作品を展示しました。

最年少で写真作品を出展した、足尾小学校6年生の佐藤るなさんは、「初めて参加しましたが楽しかったです。普段からカメラを持ち歩いていて、今回は撮影した多くの写真の中から20点を選んで展示しました。これからもずっと写真を続けていきたいです」と話してくれました。

